

(参考様式)

## 田井原地区 元気な地域づくり計画書 再改善計画・目標達成状況報告書

平成28年6月28日作成

計画主体名	都道府県名	市町村名	地区名	計画期間	実施した施策の概要		
					実施期間	事業内容(メニュー)	事業量
諫早市	長崎県	諫早市	田井原・諫早中東部・多良見地区	平成17年度～21年度	平成17年度～19年度	農業生産基盤整備	区画整理 A=6.1ha
				平成17年度～21年度	平成19年度～21年度	総合鳥獣被害施設	電気柵 L=14,000m 電気柵・ワイヤーメッシュ L=5,920m 電気柵 L=2,500m

### 1 元気な地域づくり計画の目標

テーマ	魅力ある農業経営を目指して
目標1：担い手への農地利用集積を図り、安定した農業経営の実現 目標2：区画整理により整備された土地改良施設の住民一体となった維持・保全 目標3：自然に配慮した農業用施設整備による環境保全 目標4：イノシシ被害地域の遊休農地化防止	
上記目標に対する達成状況 目標1：担い手農家への農地利用集積率の目標36.0%に対して、実績は31.0%で未達成 目標2：条件整備により機能が確保された農地の増加面積の目標6.1haに対して、実績6.2haで達成できた。 目標3：野面石積の整備や、水生生物に配慮した環境配慮型の側溝を整備するなど環境保全が図られている 目標4：電気柵、ワイヤーメッシュ柵を設置したことで、イノシシによる農作物被害が防止でき、農家の営農意欲の低下が抑えられ耕作放棄地の発生が防げた。	

目標が達成されなかった要因

農地集積における一部の農地の賃借が折り合わなかった。

(1) 目標達成に向けた方策

目標達成年度	平成27年度
全体計画	<p>(計画主体としての方策) 農用地集団化の必要性、利用集積を促進していくための説明、啓蒙活動を積極的に行い、担い手農家への農地集積を図るよう地域の合意形成をさらに推進していく。</p> <p>(県としての方策) 現在農地集積については目標達成に向け継続して作業を進めており、今後も計画主体との連絡・連携を図り必要な指導、情報の提供等を継続していく。</p>
年度別計画	<p>1年目(25年度) 当該地区における担い手農家の土地利用状況を把握し、担い手農家及び地権者に対して説明や指導を行う。</p> <p>2年目(26年度) 当該地区における農地集積率を把握し、目標達成に向けて担い手農家及び地権者に対する指導を行う。</p> <p>3年目(27年度) 当該地区における農地集積率を把握し、目標達成に向けて担い手農家及び地権者に対する指導を行い、農地集積率を36%へ引き上げる。</p>

(2) 目標の達成状況に関する評価

<p>(計画主体) 担い手農家及び地権者に対し指導した結果、集積目標値(36%)を達成したことにより、安定した農業経営が図られた。</p> <p>(県) 市と連携し、地域の農地集積の合意形成を推進した結果、安定した農業経営の実現に向け担い手への農地利用集積を促進させることができ、目標を達成することが出来た。</p>
--

## 2 目標を定量化する指標

(1) 改善計画終了時点 (平成24年6月)

	成果指標	計画策定時				計画満了時			達成率 (B/A)	指標が達成されなかった要因
		成果 目標 (A)	基準値	目標値	目標年度	満了時 成 果 (B)	実績値	算定根拠		
必 須	担い手への農地利用集積率の増加分	12%	24%	36%	H21	7%	31%		58%	集積作業において、一部土地の賃借が折り合わず目標値に達していない
	農業用排水施設等の整備・保全により条件整備され機能が確保された農地の増加面積	5.1ha	1.0ha	6.1ha	H21	5.2ha	6.2ha	5.2/5.1=102.0	102%	目標を達成している
	耕作放棄の防止	100% 農地面積 (101.9ha) 耕作放棄地 (0ha)	100% 農地面積 (101.9ha) 耕作放棄地 (0ha)	100%	H21	100% 農地面積 (101.9ha) 耕作放棄地 (0ha)	100% 農地面積 (101.9ha) 耕作放棄地 (0ha)	平成21年度計画認定地域内の耕作放棄面積 / 認定地域内の農地面積	100%	目標を達成している
選 択	自然環境の保全・再生等に向けた取組の増加	1箇所	0	1箇所	H21	1箇所	1箇所	1/1=100.0	100%	目標を達成している

計画策定時：計画を策定した時点での値

計画満了時：計画満了時（事後評価時点）での値（今回は改善計画満了時（H24.6））

(2) 再改善計画終了時点 (平成28年6月)

	成果指標	計画策定時				改善計画終了時			達成率 (B/A)	備 考
		成果 目標 (A)	基準値	目標値	目標年度	終了時 成 果 (B)	実績値	算定根拠		
必 須	担い手への農地利用集積率の増加分	12%	24%	36%	H21	14%	38%	38%=2.33ha/6.11ha*100	117%	

計画策定時：計画を策定した時点での値  
 改善計画満了時：改善計画終了時点での値  
 算定根拠：出来るだけ詳細に記載の上、参考としてバック資料を添付  
 達成率：計画を策定した時点での成果と比較した値(下2桁)

(3) 指標達成に向けた方策

指標達成年度	平成27年度
全体計画	<p>《未達成の指標：担い手への農地利用集積率の増加》            (計画主体としての方策)            農用地集団化の必要性、利用集積を促進していくための説明や啓蒙活動を積極的に行い、地域の合意形成をさらに推進する。</p> <p>(県としての方策)            地区内の農家における担い手農家への農地集積に対する意識は高まっており、目標達成に向け今後も農地集積の向上に資する活動への指導を行う。</p>
年度別計画	<p>年度別計画            1年目(25年度)            当該地区における担い手農家の土地利用状況を把握し、担い手農家及び地権者に対して説明や指導を行う。</p> <p>2年目(26年度)            当該地区における農地集積率を把握し、目標達成に向けて担い手農家及び地権者に対する指導を行う。</p> <p>3年目(27年度)            当該地区における農地集積率を把握し、目標達成に向けて担い手農家及び地権者に対する指導を行い、農地集積率を36%へ引き上げる。</p>

(4) 指標の達成状況に関する評価

<p>(計画主体)            担い手農家及び地権者に対し指導した結果、集積目標値(36%)を達成したことにより、安定した農業経営が図られた。</p> <p>(県)            市と連携し、地域の農地集積の合意形成を推進した結果、安定した農業経営の実現に向け担い手への農地利用集積を促進させることができ、目標を達成することが出来た。</p>
--

### 3 総合評価

(計画主体)

当該事業により農業用排水等の条件整備された農地が増加したことにより、農地利用集積及び耕作放棄地の防止が図られ、安定した農業経営が図られた。

(県)

本事業により、安定した用水の供給と農地が保全されたことにより、農地利用集積及び耕作放棄地の防止が図られ、農業経営の安定化につながったと考えられる。

#### 4 目標・指標の達成に向けた方策の【平成25年度】実績

##### (1) 元気な地域づくり計画の目標

H25年度実施予定方策	<p><b>《未達成の目標：担い手への農地利用集積を図り、安定した農業経営の実現》</b></p> <p>当該地区における担い手農家の土地利用状況を把握し、担い手農家及び地権者に対して説明や指導を行う。</p>
H25年度実績及び成果	<p>目標達成に向けて担い手農家及び地権者に対する指導を行ったが、担い手及び地権者からの合意が得られず、集積率の増加に至らなかった。</p>
所見 (達成見込み等)	<p>(計画主体) 集積作業がこれまで以上に促進されるよう、土地改良組合、市が連携して地域の合意形成をさらに推進する。集積への意識が高まり、今後は担い手への農地利用集積が期待される。</p> <p>(県) 地区内の農家における担い手農家への農地集積に対する意識は高まっており、目標達成に向け今後も農地集積の向上に資する活動への指導を行う。今後は担い手への農地利用集積が期待される。</p>

##### (2) 目標を定量化する指標

H25年度実施予定方策	<p><b>《未達成の指標：担い手への農地利用集積率の増加》</b></p> <p>当該地区における担い手農家の土地利用状況を把握し、担い手農家及び地権者に対して説明や指導を行う。</p>
H25年度実績及び成果	<p>目標達成に向けて担い手農家及び地権者に対する指導を行ったが、担い手及び地権者からの合意が得られず、集積率の増加に至らなかった。</p>
所見 (達成見込み等)	<p>(計画主体) 集積作業がこれまで以上に促進されるよう、土地改良組合、市が連携して地域の合意形成をさらに推進する。集積への意識が高まり、今後は担い手への農地利用集積が期待される。</p> <p>(県) 地区内の農家における担い手農家への農地集積に対する意識は高まっており、目標達成に向け今後も農地集積の向上に資する活動への指導を行う。今後は担い手への農地利用集積が期待される。</p>

※参考 目標を定量化する指標【平成25年度】

	成果指標	計画策定時				計画満了時			達成率 (B/A)	指標が達成されなかった要因
		成果 目標 (A)	基準値	目標値	目標年度	満了時 成果 (B)	実績値 H25	算定根拠		
必須	担い手への農地利用集積率の増加分	12%	24%	36%	H21	△1%	23%	23%=1.42ha/6.11ha*100	△8%	貸し借り契約の不備と賃借の条件調整が折り合わず集積率が減となった。
選 択										

成果目標：計画を策定した時点での成果指標（目標増減（増減率等））

#### 4 目標・指標の達成に向けた方策の【平成26年度】実績

##### (1) 元気な地域づくり計画の目標

H25年度実施予定方策	<p><b>《未達成の目標：担い手への農地利用集積を図り、安定した農業経営の実現》</b></p> <p>当該地区における担い手農家の土地利用状況を把握し、担い手農家及び地権者に対して説明や指導を行う。</p>
H26年度実績及び成果	<p>目標達成に向けて担い手農家及び地権者に対する指導を行った結果、担い手及び地権者からの合意が得られ、集積率の目標値を達成することができた。</p>
所見 (達成見込み等)	<p>(計画主体) 昨年度に引き続き、集積作業がこれまで以上に促進されるよう、土地改良組合、市が連携して地域の合意形成をさらに推進する。集積への意識は高まっており、集積率の目標を達成することができた。</p> <p>(県) 昨年度に引き続き市と連携し、目標達成に向けた農地集積の向上に資する活動への指導を行う。担い手の農地集積への意識の高まりが感じられ、目標達成ができた。</p>

##### (2) 目標を定量化する指標

H25年度実施予定方策	<p><b>《未達成の指標：担い手への農地利用集積率の増加》</b></p> <p>当該地区における担い手農家の土地利用状況を把握し、担い手農家及び地権者に対して説明や指導を行う。</p>
H26年度実績及び成果	<p>目標達成に向けて担い手農家及び地権者に対する指導を行った結果、担い手及び地権者からの合意が得られ、集積率の目標値を達成することができた。</p>
所見 (達成見込み等)	<p>(計画主体) 昨年度に引き続き、集積作業がこれまで以上に促進されるよう、土地改良組合、市が連携して地域の合意形成をさらに推進する。集積への意識は高まっており、担い手への農地利用集積が図られた。</p> <p>(県) 昨年度に引き続き市と連携し、目標達成に向けた農地集積の向上に資する活動への指導を行う。集積への意識は高まっており、担い手への農地利用集積が図られた。</p>



※参考 目標を定量化する指標【平成26年度】

	成果指標	計画策定時				計画満了時			達成率 (B/A)	指標が達成されなかった要因
		成果 目標 (A)	基準値	目標値	目標年度	満了時 成果 (B)	実績値 H26	算定根拠		
必須	担い手への農地利用集積率の増加分	12%	24%	36%	H21	14%	38%	38%=2.33ha/6.11ha*100	117%	
選 択										

成果目標：計画を策定した時点での成果指標（目標増減（増減率等））

#### 4 目標・指標の達成に向けた方策の【平成27年度】実績

##### (1) 元気な地域づくり計画の目標

H25年度実施予定方策	<p><b>《未達成の目標：担い手への農地利用集積を図り、安定した農業経営の実現》</b></p> <p>当該地区における担い手農家の土地利用状況を把握し、担い手農家及び地権者に対して説明や指導を行う。</p>
H27年度実績及び成果	<p>目標達成に向けて担い手農家及び地権者に対する指導を行った結果、担い手及び地権者からの合意が得られ、集積率の目標値を達成することができた。</p>
所見 (達成見込み等)	<p>(計画主体) 昨年度に引き続き、集積作業がこれまで以上に促進されるよう、土地改良組合、市が連携して地域の合意形成をさらに推進する。集積への意識は高まっており、集積率の目標を達成することができた。</p> <p>(県) 昨年度に引き続き市と連携し、目標達成に向けた農地集積の向上に資する活動への指導を行う。担い手の農地集積への意識の高まりが感じられ、目標達成ができた。</p>

##### (2) 目標を定量化する指標

H25年度実施予定方策	<p><b>《未達成の指標：担い手への農地利用集積率の増加》</b></p> <p>当該地区における担い手農家の土地利用状況を把握し、担い手農家及び地権者に対して説明や指導を行う。</p>
H27年度実績及び成果	<p>目標達成に向けて担い手農家及び地権者に対する指導を行った結果、担い手及び地権者からの合意が得られ、集積率の目標値を達成することができた。</p>
所見 (達成見込み等)	<p>(計画主体) 昨年度に引き続き、集積作業がこれまで以上に促進されるよう、土地改良組合、市が連携して地域の合意形成をさらに推進する。集積への意識は高まっており、担い手への農地利用集積が図られた。</p> <p>(県) 昨年度に引き続き市と連携し、目標達成に向けた農地集積の向上に資する活動への指導を行う。集積への意識は高まっており、担い手への農地利用集積が図られた。</p>

※参考 目標を定量化する指標【平成27年度】

	成果指標	計画策定時				計画満了時			達成率 (B/A)	指標が達成されなかった要因
		成果 目標 (A)	基準値	目標値	目標年度	満了時 成果 (B)	実績値 H27	算定根拠		
必須	担い手への農地利用集積率の増加分	12%	24%	36%	H21	14%	38%	38%=2.33ha/6.11ha*100	117%	
選 択										

成果目標：計画を策定した時点での成果指標（目標増減（増減率等））